

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2019-130248 (P2019-130248A)
 【公開日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-032
 【出願番号】特願 2018-17714 (P2018-17714)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 6 G

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 2 日 (2020.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行するものであり、前記当り結果が導出される確率に関する設定情報が設定されることで遊技の進行が可能になる遊技機において、

当該遊技機の電源が投入されるときに第 1 の操作が行われる場合に、前記設定情報を設定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに第 2 の操作が行われる場合に、前記設定情報を確認可能な確認モードを発生させる確認モード発生手段と、

前記抽選の結果に基づいて所定の変動パターンテーブルから前記図柄の変動表示に関する変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記変動パターン決定手段は、当該遊技機の電源投入後に前記設定情報が設定されて前記設定モードを終了した場合に、該設定モードの終了後に前記図柄の変動表示が所定回数行われることで、通常とは異なる特定の変動パターンテーブルを用いて前記変動パターンを決定することが可能であり、

前記演出実行手段は、前記特定の変動パターンテーブルを用いて前記変動パターンが決定された場合に、特定演出を実行可能であり、

前記設定モードの終了後に計数された前記図柄の変動表示の回数は、当該遊技機の電源投入後に前記確認モードが発生しても初期化されることなく保持される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、例えば、単に設定情報を設けただけでは遊技の変化が乏しく、遊技興趣の低下を招く虞があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、新たな態様の制御によって遊技機における遊技興趣の低下を抑制することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行するものであり、前記当り結果が導出される確率に関する設定情報が設定されることで遊技の進行が可能になる遊技機において、

当該遊技機の電源が投入されるときに第1の操作が行われる場合に、前記設定情報を設定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに第2の操作が行われる場合に、前記設定情報を確認可能な確認モードを発生させる確認モード発生手段と、

前記抽選の結果に基づいて所定の変動パターンテーブルから前記図柄の変動表示に関する変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記変動パターン決定手段は、当該遊技機の電源投入後に前記設定情報が設定されて前記設定モードを終了した場合に、該設定モードの終了後に前記図柄の変動表示が所定回数行われることで、通常とは異なる特定の変動パターンテーブルを用いて前記変動パターンを決定することが可能であり（例えば段落1605）、

前記演出実行手段は、前記特定の変動パターンテーブルを用いて前記変動パターンが決定された場合に、特定演出を実行可能であり（例えば段落1608の示唆演出A1や段落1612の示唆演出A2）、

前記設定モードの終了後に計数された前記図柄の変動表示の回数は、当該遊技機の電源投入後に前記確認モードが発生しても初期化されることなく保持される（例えば段落1620）

ことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このように、本発明によれば、遊技興趣の低下を抑制することが可能な遊技機を提供することができる。